



☆校長室より☆

開校記念日に思う

11月2日(木)は本校の開校記念日(本校創立72周年)です。同窓生の皆様、地域の皆様、諸先輩の方々の多大なるご努力・ご支援により、輝かしい伝統を重ねてまいりました。次の節目である80周年に向けて、新たな一步を踏み出します。今この時に改めて本校の歴史を再確認するとともに、これまでの学校運営について振り返り、新たな時代へのしっかりとした基盤を作る必要があると考えております。今後、さらに本校の歴史と伝統を未来に向けて積み上げていくために、同窓生、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

『校訓』の『英知 錬磨 創造』は、伝統を受け継ぎ新たな校風を目指す精神的支柱として平成8年3月19日に制定されました。校歌の歌詞「深き英知を磨くべし」、「若き力を鍛うべし」、「明日の光をかかぐべし」をルーツとしています。

『校章』は、昭和29年10月31日に決定しました。北国のシンボル雪の結晶を外輪として、その一片一片はペンをかたどっています。純白な雪は北端にある本校の位置を示すとともに、純粋一途、理想の灯をかかげてひたすら学ぶ汚れなき若人の純潔を象徴し、一片一片のペンは真摯に学ぶ学徒の姿を具現しています。

開校からのことを学ぼうと4冊の記念誌を読むと、色々なことがわかりました。開校記念日は昭和61年までは5月4日だったこと。職員玄関前にある黒の門標は、30周年を記念して建てられもので、旧校舎から現在の校舎へ移築されていること。何よりも、高校時代隣のクラスを教えていた多賀谷治先生、教諭時代に校長だった木村勝彦先生が過去に勤務されていたこと。また、教諭時代に教頭で厳しく指導していただいた坪谷隆丸先生が本校の校長として勤務されていました。校長室の机の正面に坪谷先生の写真が飾られ、いつでも私を見ているので、手を抜いた仕事はできません。この先生方のご縁で、霧多布高校で勤務出来ていると考えています。先輩達の思いを胸に、より良い霧高づくりを進めていきます。

(校長 柴尾 尚文)

☆ 体育祭 ☆

体育祭を振り返って

今年の体育祭は学年混合でサッカーを行いました。運良くも自分は MVP を頂き今こうして霧高だよりを書いています。自分たちのチームは一位にもなりみんなで喜びを分かち合いました。それは、みんなが今回の体育祭を盛り上げようとした結果だったと思います。今回の体育祭は今までで一番盛り上がったし楽しかったです。他学年との交流ができ、良好な関係性になれた良い機会になりました。今後も他学年と交流できるような行事をもっと行っていき霧高全体が良い雰囲気为学校にしていきたいです。

(3年A組 北館 空)



高校生チャレンジグルメコンテスト

今回私たちは、4月中旬から開発し、試行錯誤を重ねてきた「ハマナカレー」を10月7日に行われたチャレンジグルメコンテストを通して発表してきました。

ハマナカレーの開発で大変だったことは、カレーとしての味と、海鮮類との味のバランスを調整することや、発表のスライド構成をどのようにするか、他の人たちに浜中町の魅力を10分間の発表の中でどのように伝えられるかを考えることでした。スライド作成はぎりぎりになってしまいましたが、今回関わった人たちと先生と一緒に協力し、企画したおかげで今回、準大賞を獲得することができました。応援してくれたみなさん、ありがとうございました。(3年A組 曲田 慎吾)



浜中学イベント

私たち3年生は、9月25日に霧多布湿原センターで、浜中町PRイベント「おいでよハマフェス」を開催しました。イベントでは、アドベンチャートラベルを主とし、6つの班が3年間浜中学で学んだことを活かした企画を行いました。私の班は健康を重視し、浜中町の豊かな自然を活用したヨガをしました。イベントを通して、浜中町の魅力を再確認できました。また、3年間学んできたことを発揮して自分たちも楽しむことができ、いい思い出になりました。(3年A組 横山 奈々未)



高文連全道書道展・研究大会に参加して

今回の全道大会は3年ぶりに全道生徒が集まる形で開催されました。総勢800人程いた為、たくさんの種類の作品を鑑賞することができ、いろいろ吸収して行くことができました。作品について他の学校の先生方に、アドバイスをいただいたり、他校の生徒と席書会で合作をして交流をしたりと、とてもいい経験をすることができました。今回の全道大会の経験をもとに、これからも頑張っていきたいと思えます。(2年B組 田畑 鮎佳)



行事予定



2日(木) 開校記念日

3日(金) 文化の日

7日(火) 見学旅行(2学年)

~10日(金)

20日(月) 後期中間考査

~22日(水)

23日(木) 勤労感謝の日